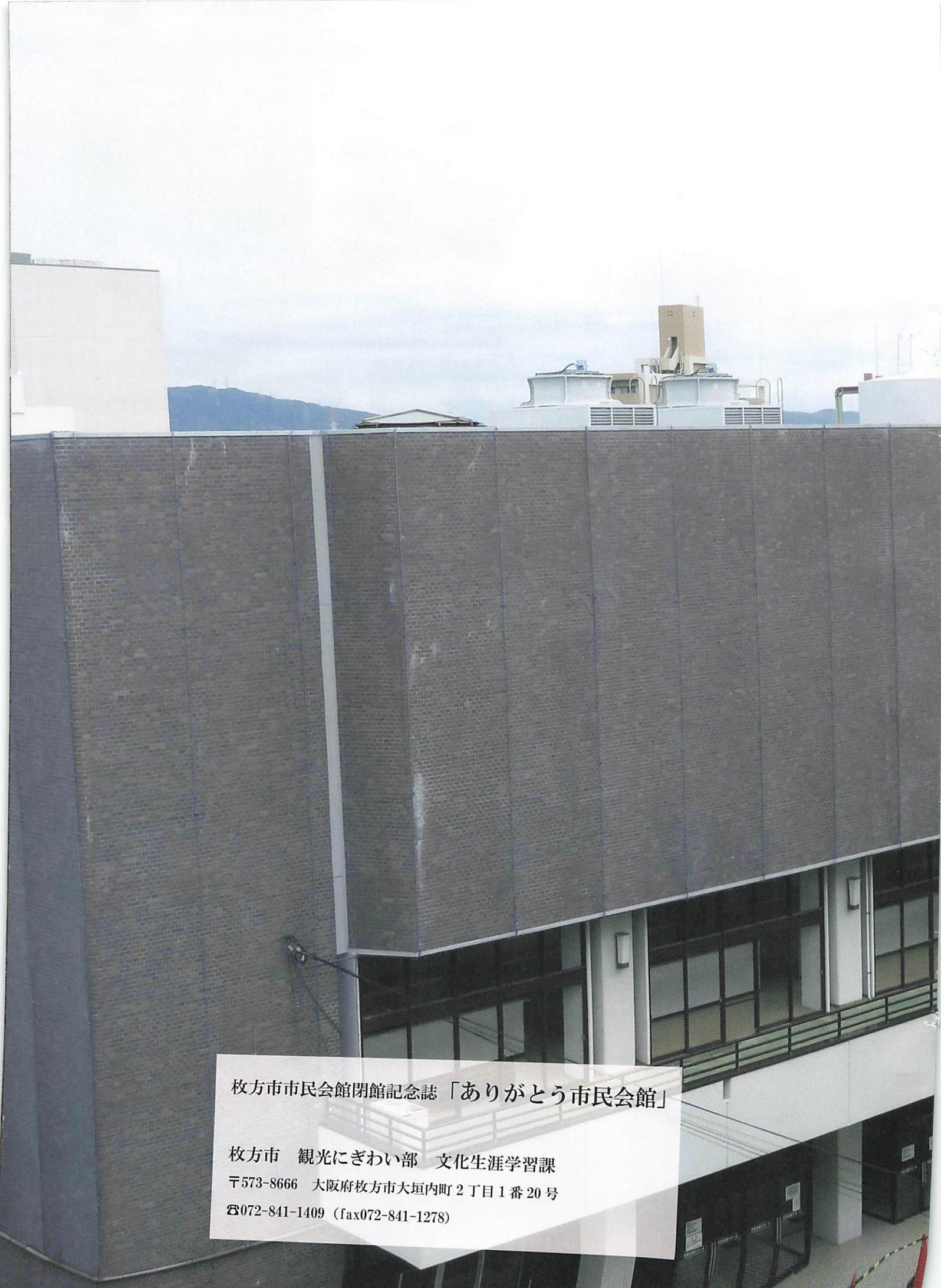


枚方市市民会館閉館記念誌

ありがとう市民会館

Arigato Hirakata Civic Hall





枚方市市民会館閉館記念誌「ありがとう市民会館」

枚方市 観光にぎわい部 文化生涯学習課
〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号
☎072-841-1409 (fax072-841-1278)

枚方市市民会館の閉館に思いを寄せて



枚方市長 伏見 隆

枚方市の発展とともに市民の文化芸術活動を支えてきた市民会館。昭和 40 年の開館以来、多くの市民の皆さんに愛され、広く利用されてきました。

大ホールでスターに声援を送り、拍手喝さいしたあの日。音楽室で練習し、緊張しながら大・小ホールで演奏、発表したあの日。そして、新たな門出を祝った結婚式場や披露宴会場。読書に親しんだ図書館。それぞれ皆さんの心の中で、今も市民会館での思い出が生き続けていると思います。

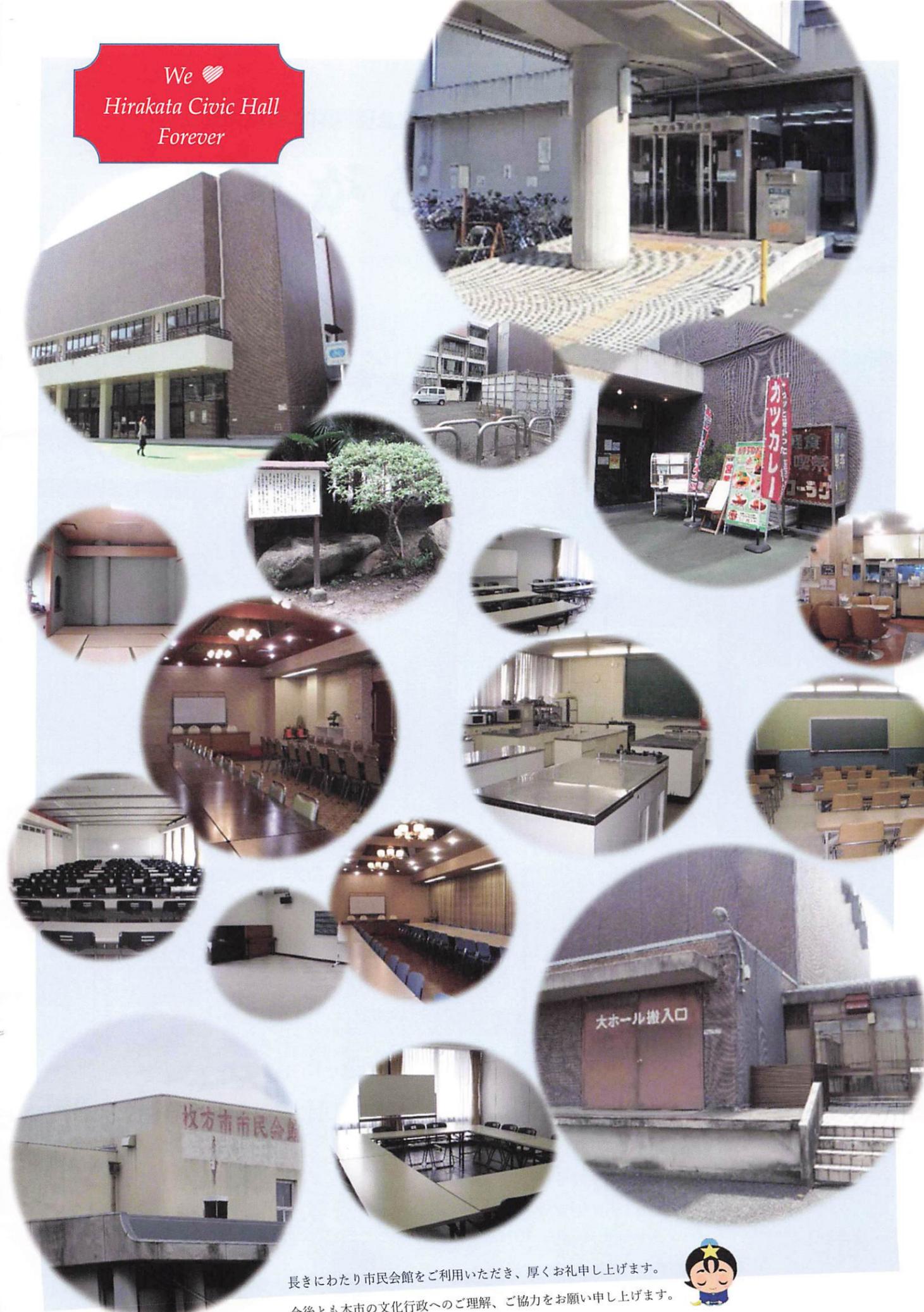
枚方市では、中央図書館や枚方公園青少年センターなどの施設整備に伴い、市民会館の機能の見直しを行ってまいりましたが、これまでパフォーミングアーツの活動拠点として長く運営してきました。

現代社会において、人々の思いや価値観が多様化する中、文化行政の役割は大変重要となってきました。新しい文化芸術事業の取り組みはもとより、市民会館で培ってきた文化やその歴史を未来に引き継ぐことは大切であると考え、この度本パンフレットの作成に至りました。

市民会館の歴史は幕を閉じますが、これまでの多くの人々の思いをさらに発展させるべく、「枚方市総合文化芸術センター」へバトンをつなぎます。

ありがとう、そしてさようなら市民会館。

We ♥
Hirakata Civic Hall
Forever



長きにわたり市民会館をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。
今後とも本市の文化行政へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



市民会館のあらまし

枚方市は市制施行後、早くから文化施設を含む公共施設の建設を計画していましたが、昭和30年に財政再建団体の指定を受け、施設建設が制限されるなど、困難に見舞われます。しかし、昭和35年、自主再建を果たし、市民会館用地を確保したことで、いよいよ建設が具体化しました。建設にあたっては、市民の方々のさまざまなニーズに応えるため、各種団体からの要望・意見をふまえ、市が委嘱した総合会館建設委員と幾度も協議を重ねるなど、準備を進めました。

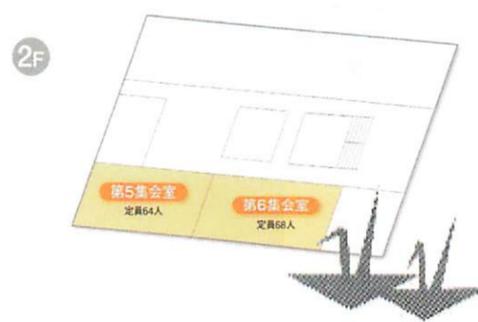


昭和37年から第1期工事に着工し、昭和39年着工の第2期工事を経て、同年12月に待望の市民会館（現在の本館）が竣工しました。続く第3期工事によってようやく昭和46年に大ホール、小ホールを擁するホール棟が完成しました。



本館1階の各諸室は、労働センターとして位置づけられていました。労働センターは勤労者の文化と教養を高め、その健全な育成と生産意欲の向上に資することを目的としており、目的に合致した利用をする場合には使用料減免を受けることができました。

本館2階にはかつて結婚式場が設置されていました。開館当時、生活を近代化することを目的とした新生活運動が全国的に行われており、市民会館においても、市民の婚姻諸行事を合理化し、あわせて市民生活の改善向上に資するために結婚式場が設置されました。この式場は「天津殿」と命名され、平成に入ってから存在していましたが、利用は次第に落ち込み、平成13年をもって廃止となりました。廃止後、宴会場のスペースは第5、6集會室として活用されました。

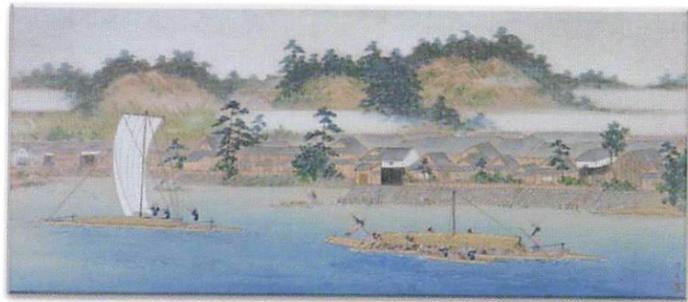


開館当時、本館3階には図書センターと青少年センターが設置されていました。開館当時の枚方にはまだ市立図書館はなく、大阪府立図書館枚方ブックステーションが三矢町に設置されていましたが、開館と同時に三矢町から市民会館3階に移転となりました。その後、図書センターのスペースは昭和48年に発足した市立枚方図書館に引き継がれ、平成17年の枚方市立中央図書館の開館まで市民の読書活動を支えました。青少年センターは青少年に学習と憩いの場を与え、

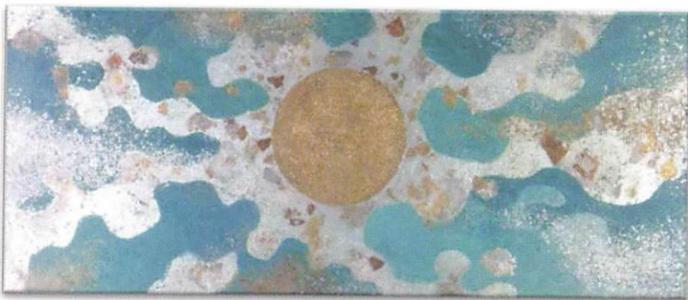
青少年活動を助成し、その健全な育成をはかることを目的としており、各種サークル活動の育成と指導、文化教養を高める諸行事の開催、青少年の健全な育成に必要な事業等を行うことが定められていました。そして、平成17年に青少年センターの機能は現在の枚方公園青少年センターに移管されました。図書館閉館後のスペースは第4、5、6會議室として、青少年センターのスペースは第1、2會議室として、それぞれ活用されました。

本館4階は開館から閉館まで、音楽室として利用されました。



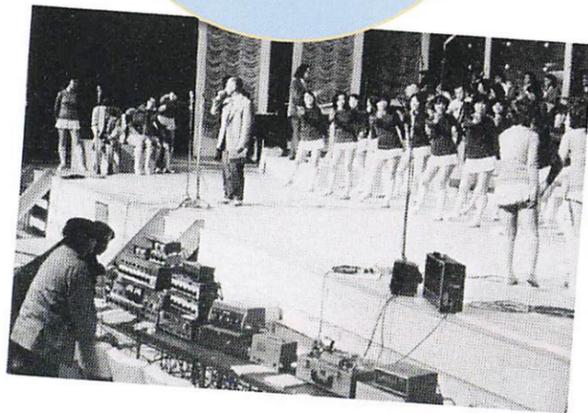


大ホール 第1 緞帳原画 中井吟香氏 作



大ホール 第2 緞帳原画 村田博三氏 作

第1 緞帳(どんちょう)の図案は
鍵屋浦での「くらわんか舟」風景
です。上り下りの三十石船に集ま
る「くらわんか舟」。淀川はかつて
重要な交通路で、枚方はその宿
場町として栄えました。



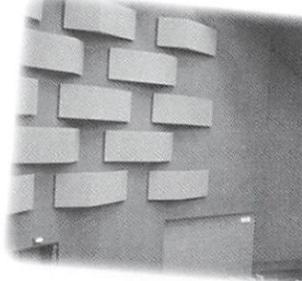
大ホール中継風景



大ホールロビー



大ホール映写機



市民会館 57 年の軌跡



大ホール落成 審音制定記念式典



平成 4 年 枚方市
(財)枚方市文化協会

昭和 62 年 市制施行 40 周年記念式典

昭和 49 年 枚方市文化協会結成

昭和 48 年 市立枚方図書館発足

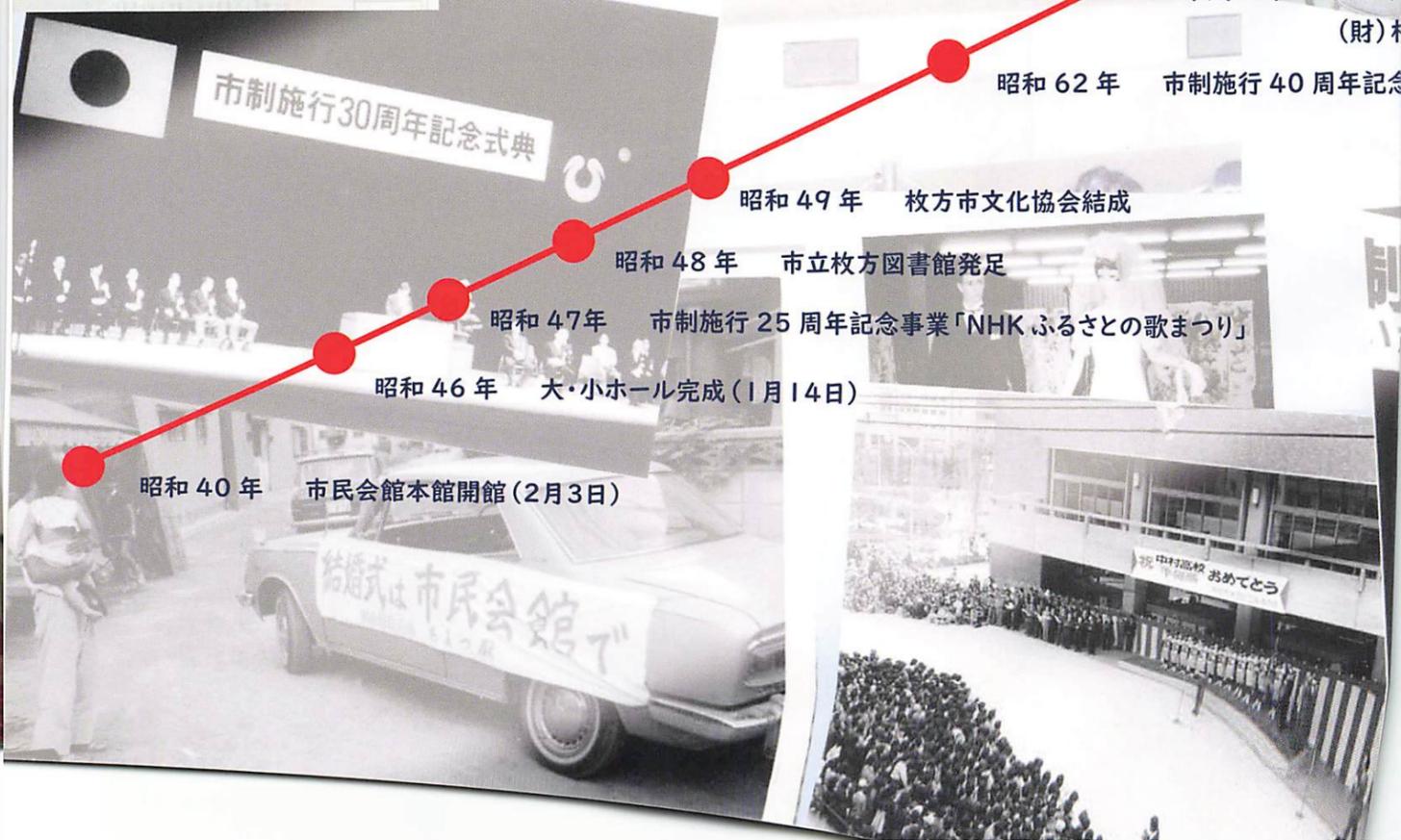
昭和 47 年 市制施行 25 周年記念事業「NHK ふるさとの歌まつり」

昭和 46 年 大・小ホール完成(1月14日)

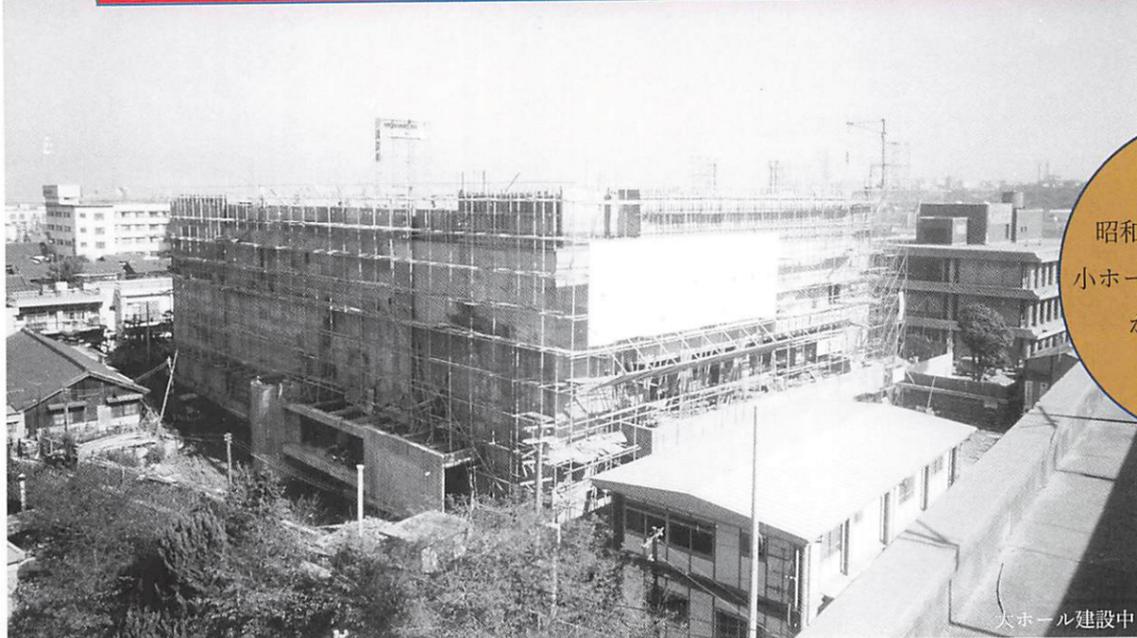
昭和 40 年 市民会館本館開館(2月3日)



大ホールは、収容人員 1460 人で本格的な舞台設備
等が備わっており、音楽、演劇、舞踊、映画、講
演等の多人数で行う催しに使用されました。



大・小ホール



昭和46年に大ホール、小ホールを擁するホール棟が完成しました。

大ホール建設中



小ホールロビー



小ホールでの展示会風景



小ホールは、収容人員260人で集会、パーティー、展示会等に使用できました。防音設備が整っており、ロックコンサート等も行われていました。

令和4年 本館閉館 (3月31日)

令和3年 ・(公財)枚方市文化国際財団解散
・大・小ホール閉館 (9月30日)

平成30年 大阪北部地震発生 大ホール使用中止

平成29年 市制施行70周年記念事業「NHKにほんごであそぼ 元気コンサート in 枚方」「開運!なんでも鑑定団 in 枚方」

平成17年 ・3階の中央図書館市民会館サービスコーナー閉室
・青少年センター枚方公園へ移転

平成16年 ・(財)枚方市文化振興事業団と(財)枚方市国際交流協会が統合し、
(財)枚方市文化国際財団設立

平成13年 ・市立枚方図書館閉館
結婚式場廃止

文化協会解散、
枚方市文化振興事業団設立
講演 森繁久彌氏「私の歩いた道」

施行40周年記念講演
「道」講師 名誉市民 森繁久彌氏

枚方市 市制施行70周年記念式典



天津殿ロビー



▼天津殿写真室



天津殿を宣伝する車

本館の2階には「天津殿（あまつでん）」という結婚式場がありました。平成13年に廃止されるまでに行われた挙式の件数は13,000件を超えました。



▲披露宴会場



結婚式場



第5会議室



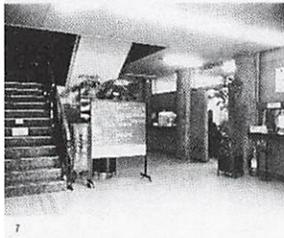
▼料理教室

本館

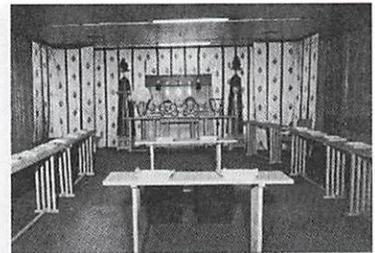


当時枚方市では会議室等が不足し、市民活動が活性化する中、文化学習団体・市民団体から会館建設の要望が持ち上がり、これに応える形で鉄筋コンクリート4階建て、冷暖房完備の近代的な市民会館として、昭和40年2月に開館しました。

労働センター



結婚式場
天津殿

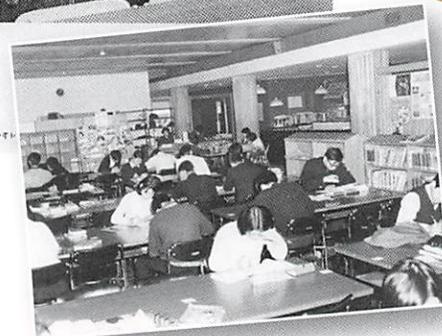


結婚式場



クローク

青少年センター
図書館



労働センター・図書館・青少年センター・結婚式場を包含する複合施設でした。



市民会館利用促進のため、見学会を実施していました。